

12 付属語 助動詞 (1)

名前

年組番

100点

1 「助動詞の区別」各文の——線部から、助動詞を選びなさい。 3点×5

① 今年は海へ行こうと思う。

② 台風がここを通るらしい。

③ 夢のような一日になる。

④ 私がそう言ったことは確かだ。

⑤ 言いたいことは何も無い。

2 「れる」「られる」の意味 次の——線部の意味を、あとから選びなさい。 4点×4

① 海が見られる場所へ行く。

② 近所の人にほめられる。

③ 校長先生が話される。

④ 昔のことが思い出される。

ア 受け身 イ 尊敬 ウ 自発 エ 可能

3 「せる」「させる」の区別 助動詞「せる」「させる」に——線を引きなさい。 3点×4

① 明日、弟をここに来させる。

② 弟にわけを話させるつもりだ。

③ 宿題を生徒に出させる学校がある。

④ 妹にテストを受けさせるようにする。

4 「ない」の区別 次の——線部はあとのどれにあたるか、選びなさい。 4点×4

① 新しくない部品は取り替える。

② とてもせつない話だと思う。

③ 朝食に紅茶がないと困る。

④ 見えないところに真実がある。

5 「た」の区別 次の——線部の意味をあとから選びなさい。 4点×4

① 壁に掛けた時計を見る。

② 明日は休みだったね。

③ 今日、梅雨が明けたそうだと。

④ 昨日君が言ったとおりだ。

ア 過去 イ 完了 ウ 存続 エ 確認

6 「だ」の区別 次の——線部はあとのどれにあたるか、選びなさい。 4点×3

① 私の兄は大学生だ。

② 以前読んだ本の感想を話す。

③ 言葉づかいが丁寧だ。

ア 形容動詞の活用語尾

イ 断定の助動詞「だ」

ウ 過去の助動詞「た」

7 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「A 君が私に何か言いたがっていることは、君の様子でわかっていた。B しかし、私には、君をそこに行かせられなかった理由があるのだ。」

(1) 「A」の一文に含まれる助動詞を二つ抜き出し、終止形に直しなさい。 完答 5点

(2) 「B」の一文に含まれる助動詞を、そのままの形ですべて抜き出しなさい。 完答 8点

ア 助動詞 イ 形容詞
ウ 補助形容詞 エ 形容詞の一部

12 付属語 助動詞 (1)

名前

年組番

100点

解答

- 1 ① イ ② ウ ③ ア ④ イ
⑤ ア
- 2 ① エ ② ア ③ イ ④ ウ
- 3 ① 明日、弟をここに来させる。
② 弟にわけを話させるつもりだ。
③ 宿題を生徒に出させる学校がある。
④ 妹にテストを受けさせるようにする。
- 4 ① ウ ② エ ③ イ ④ ア
- 5 ① ウ ② エ ③ イ ④ ア
- 6 ① イ ② ウ ③ ア
- 7 ① たがる た
② せられ なかつた だ

解説

- 1 ① 「行こう」は意志。② 「らしい」は推定。
③ 「ような(ようだ)」はたとえ。④ 「言った」は過去。ウ「確かだ」は形容動詞。⑤ 「たい」は希望。ウ「ない」は形容詞。
- 2 ① 「〜できる」の意味。② 動作を「受ける」意味。③ 人の動作を「敬う」意味。④ 「自然にそうなる」という意味。
- 3 「せる」は五段動詞とサ変動詞の未然形に付き、「させる」はその他の動詞の未然形に付く。
① 「来させる」は「来る+させる」、② 「話させる」は「話す+せる」、③ 「出させる」は「出す+せる」、④ 「受けさせる」は「受ける+させる」となる。
- 4 ① 「新しくはない」と「は」をはさむことができるので補助形容詞。② 形容詞「せつない」の一部。④ 「見えぬ」と、「ない」を「ぬ」に置き換えられるので助動詞。
- 5 ① 「〜である」と言い換えられるので存続。
② 「確かめようとしている」意味。③ 「たった今終わった」という意味。④ 過去の動作や状態を表す。
- 6 ① 体言や助詞「の」などに付く、断定の助動詞「だ」。② 「読み+た」が「読んだ」とにごったもので、過去の助動詞「た」。④ 形容動詞「丁寧だ」。
- 7 ① 希望の「たがる」、過去の「た」。
② 「行かせ(使役)られ(可能)なかつ(打ち消し)た(過去)理由があるのだ(断定)」